



れんごう鳥取 フォトニュース

「第33回定期大会」特集号 (2025年11月28日)



毎月05日は
れんごうの日

発行・日本労働組合総連合会鳥取県連合会
発行人・北畑 仁史 編集人・河村 正之
〒680-0847 鳥取市天神町 30-5
TEL (0857) 26-6605 FAX (0857) 26-6615
E-mail: tottori@tottori.jtuc-rengo.jp
ホームページ: https://jtuc-tottori.jp

大会スローガン 安心社会へ 果敢にアクション！ ～広げよう「理解・共感・参加」の輪～



北畑仁史(新)会長(写真上)の音頭で
団結がんばろう！

連合鳥取は11月20日(木)、「第33回定期大会」をハワイアロハホール(湯梨浜町)で開催し、2025年度の活動を総括するとともに、2026-2027年度運動方針・2026年度予算を決定しました。また、2026年1月から会費の納入方法が「中央会費制度」に移行されることから、連合鳥取の規約・規則の一部改正を行いました。役員選挙では北畑仁史さん(UAゼンセン)を新会長に選出し、すべての役員が満場一致で承認され、新年度がスタートしました。

大会・議案討議の様子



■主催者あいさつ ■議長団 ■開会あいさつ
山口一樹会長 左から 濱本早苗代議員(自治労) 森由香里副会長
本田優作代議員(電力総連)

【出席人数】
代議員〈定数126人〉/99人
うち女性29人・女性参画率29.3%
特別代議員/4人(うち女性1人)
傍聴/1人
執行部〈定数37人〉/29人



■活動・会計報告、会計監査報告 ■各種委員長の報告
左から 活動報告/松本善樹副事務局長 新加盟組合あいさつ/JAM 松田武志議長 会計決算・剰余金処分案提案/河村正之事務局長 会計監査報告/田中成一会計監査
※JAMに新規加盟の「鳥取県労働組合」は業務のため欠席。山木美佐男執行委員長からのメッセージが披露されました。



左から 岩本裕己資格審査委員長 山根佑一大会運営委員長 山崎 陸役員推薦副委員長

■質疑 & 意見
左から 第2号議案 「2026・2027年度運動方針案(重点分野1)」に質問する 吉田孝博代議員(自治労) 第3号議案 「2026年度予算案」に質問する柳原康之代議員(自治労)

【吉田代議員】①『「地域ゼネラル連合」創設の決定で連合ととり・ユニオンの体制整理を行う』と記載がある。今後、連合本部と連携してとあるが、今ある「連合ととり・ユニオン」の組織運営はどうなるのか。現段階での考え方を説明いただきたい。
②全国一般労働組合の組織にある「私立高校」の労働組合のいろいろな問題・課題について、鳥取県に対する「政策・制度要求」の中に組み入れていただいている。お礼を申し上げるとともに、引き続き、協力をお願いする。
【答弁】「連合ととり・ユニオン」は以前から組織していたが、現在は加入者ゼロという状況になっている。他県の地方連合会では加入者が存在している。「地域ゼネラル連合」が創設されれば、全国にある組織がその傘下に入っていくこととなる。いわゆる連合本部に地域ゼネラル連合が産別のような形で存在するというイメージで思っていたらいいと思う。ゼネラル連合の会費やその運動への支援、地方連合会との関係性など、これから整理されていくところである。基本的には、当該の地方連合会が支援、手助けしながら活動していくことになり、会費の流れとしては、加入の組織・組合員はゼネラル連合に会費を納めて、そこから結果的に連合鳥取に会費・分担金が下りてくる仕組みになると考えている。

来賓のみなさま



ごあいさついただいたご来賓のみなさま
写真左から・連合本部 富田珠代副事務局長 ・鳥取県 遠藤俊樹政策統括監
・鳥取労働局 山下禎博局長
・立憲民主党鳥取県総支部連合会 興治英夫代表 湯原俊二副代表
・国民民主党鳥取県総支部連合会 岩田浩岳幹事長



多くの祝電・メッセージもいただきました
・国民民主党鳥取県総支部連合会 ・推薦議員各位 ・県議会議員 ・市長各位
・鳥取県経営者協会 ・連合中国ブロック連合会各位

第4号議案/役員選挙



※門脇光浩選挙管理委員長(写真上中央)が新年度役員候補者を紹介し、全候補者に対する一括の拍手で信任されました。

【柳原代議員】 ●まずもって、山口会長お疲れさまでした。予算に関して、「中央会費制度」というところで提案があったが、「中央会費制度」の仕組み自体をあまり理解していない。どういった金の流れになるかというところの整理を教えてください。
【答弁】現在、連合鳥取の会費としては基本的に正規の組合員から一人あたり150円という会費を、地方の産別から連合鳥取に会費を納めていただいている。これが、2026年1月1日から「中央会費制度」に変更となる。
例/①自治労鳥取県本部は自治労本部に会費を納入 →②自治労本部から47都道府県の会費を連合本部に納入 →③連合本部はその中から、鳥取県の登録人員分を連合鳥取に交付 という流れになる。
したがって、これまで産別から直接連合鳥取に振り込みいただいていた会費納入がなくなり、産別の中央組織を通じ、まわりまわって連合鳥取の交付金となっていく。



挙手で承認する代議員

お世話になりました

退任役員のみなさん

写真上段左から/(役職名は前職で掲載)
山口一樹会長(自治労) 藤縄和彦副事務局長(自治労) 垣屋克吉執行委員(JAM)
山根佑一執行委員(自動車総連)
下段左から/岩本裕己執行委員(全国農団労) 山下詩織執行委員(女性代表/UAゼンセン)
福田奈々江執行委員(女性代表/全国農団労)
※伊東利恵執行委員(女性代表/自治労) 藤木真由会計監査(情報労連)
田中圭祐会計監査(全労金)は所用のため欠席。

2026-2027年度役員

役職名	名前(出身組織)
会長	北畑仁史(UAゼンセン)
副会長	森由香里(女性代表/フード連合) 三浦敬樹(自治労) 盛山修(JAM) 亀山泰孝(JR連合) 細砂直(日教組) 谷口龍太郎(JP労組) 山崎 陸(運輸労連)
事務局長	河村正之(電機連合)
副事務局長	安藤光平(電力総連) 山下浩二(私鉄総連) 寺田真里(全労金) 松本善樹(連合鳥取)
執行委員	浅山里奈(UAゼンセン) 田中智史(電機連合) 門脇光浩(紙/連合) 山田 諒(自動車総連) 門脇直人(電力総連) 里田齊昭(全国農団労) 村尾昌彦(交通労連) 飯塚真吾(情報労連) 米花大地(私鉄総連) 山本昌明(全水道) 稲田いづみ(女性代表/自治労) 伊藤美紀(女性代表/JR連合) 井上紀子(女性代表/日教組) 下垣奈穂(女性代表/紙/連合) 杉元亜紀(女性代表/情報労連) 田中綾子(女性代表/フード連合) (/青年委員会) (/女性委員会) (/東部地協) (/中部地協) (/西部地協)
会計監査	田中成一(全水道) 上田陽子(国公総連) 小村正樹(全労金)



30% お願いします

「子ども食堂」などを支援する「フードドライブ」へ
23点の食品をご提供いただきました。
11月26日(水)、とっとり子どもの居場所ネットワーク「えんたく」に寄贈しました。

大会宣言

提案 上 蘭 和真 青年委員会幹事/全国農団労

日本は戦後・被爆80年を迎えました。世界ではこの瞬間も、戦争や紛争で多くの命が犠牲となり、人権が脅かされています。私たちは、国際労働運動に集う世界の仲間と連帯して、核兵器の廃絶と恒久平和の実現を求め、行動し続けます。

日本国内では、歯止めのかからない人口減少や格差の拡大、社会保障制度の持続可能性、そして気候変動など、私たちの社会は多くの課題に直面し、経済の先行きに対する不安や既存の政治や制度に対する不満が高まっています。社会の分断を防ぐためにも、民主主義の担い手である労働組合としての社会的役割と責任を改めて認識し、包括的で持続可能な社会づくりに貢献しなければなりません。

このような中、私たちは2025春闘において連合鳥取結成以来の最高水準となった昨年実績を上回る「加重平均12,236円」の賃上げを勝ち取ることができました。「人への投資」を広く地域社会へ波及させるため、2026春闘においてもこの流れを継続させなければなりません。

10月21日に開会した第219回臨時国会において、高市早苗自民党総裁が総理大臣に指名され、自民党と日本維新の会による連立政権が発足しましたが、その前提となる両党の政策協議はまだ具体性がなく、今後の動向を注視しなければなりません。現下の物価高により家計の厳しさが増す中、第27回参議院選挙から3カ月の政治空白が生じてしまったことは極めて遺憾であり、与野党各党は、恒久的かつ実効性ある物価高対策を早急にとりまとめ、実行に移すべきです。私たちは推薦議員と連携し、連合の重点施策の実現に向け、積極的に取り組みを進めていきます。

連合鳥取は丁寧な合意形成のもと、構成組織、地域協議会と一体となり、連合ビジョンが掲げる「働くことを軸とする安心社会の実現—まもる・つなぐ・創り出す—」の価値観を改めて共有・発信し、不条理に立ち向かい、すべての働く仲間の雇用とくらしを守る運動を前進させることをここに宣言します。

安心社会へ 果敢にアクション！
～広げよう「理解・共感・参加」の輪～